

みつびしこうぎょう(おおゆうばりてつどう) 三菱鉱業
(大夕張鉄道)

1 事業者の概要

名称・本社・資本金・おもな事業は*三菱鉱業美唄鉄道と同じ。鉄道従業員178人,保有車両 蒸気機関車6,客車10,貨車27,雪かき車1両。

沿革 三菱鉱業株式会社の専用鉄道を昭和13・10地方鉄道に変更し,同14・4開業して現在に至る。

2 地方鉄道線 夕張線清水沢に連絡し,清水沢から大夕張炭山に至る延長17.2kmの単線,動力は蒸気,軌間は1.067mで旅客・貨物運輸の鉄道である。昭和13・10・20専用鉄道を地方鉄道に変更許可を受け,同14・4・20運輸開始した。



3 運輸概況

年度	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	2,216	2,104	2,045
人キロ(千)	15,438	15,094	14,156
貨物輸送トン数(千t)	659	690	578
トンキロ(千)	9,316	10,068	8,324
旅客収入(千円)	26,477	26,491	25,896
貨物収入(〃)	116,808	121,998	102,979
運輸雑収(〃)	7,363	6,908	6,444
収入合計(〃)	150,648	155,397	135,319
営業費(〃)	131,381	128,973	128,130
営業利益(〃)	19,267	26,423	7,189
営業係数(%)	87	83	81

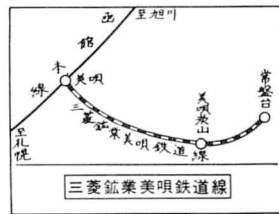
(志村幹雄)

みつびしこうぎょう(びばいてつどう) 三菱鉱業(美唄鉄道)

1 事業者の概要

名称 三菱鉱業株式会社,本社 東京都千代田区丸ノ内,鉄道事務所は北海道美唄市美唄,資本金 180,000万円,おもな事業 鉱業,鉱物の売買,地方鉄道業,一般乗合旅客自動車運送事業路線52km。鉄道従業員 302人,保有車両 蒸気機関車10,客車11,貨車48,雪かき車1両。

沿革 明治40年石狩炭鉱株式会社が採炭輸送のため,同社の専用鉄道として免許を受け,大正2・10 軽便鉄道に変更,同3・11から営業開始した。大正4・8 飯田炭鉱株式会社がこれをゆずり受けたが,同年9月三菱合資会社がこれを買収すると同時に,同社の傍系として資本金50万円の美唄鉄道株式会社を創立し,同年10月より鉄道をゆずり受け開業した。その後昭和25・4 三菱鉱業株式会社に吸収合併され現在に至る。



2 地方鉄道線

函館本線美唄駅に連絡し,美唄から常盤台に至る延長10.6kmの単線,動力は蒸気,軌間は1.067mで旅客・貨物運輸の鉄道である。美唄・美唄炭山間は大正2・10・14免許,同3・11・

5運輸開始し,美唄炭山・常盤台間は大正13・11・17免許,同13・12・15開業した。

3 運輸概況

年度	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	2,942	2,896	2,952
人キロ(千)	13,579	14,755	15,978
貨物輸送トン数(千t)	1,297	1,091	1,168
トンキロ(千)	10,052	8,551	9,162
旅客収入(千円)	31,699	30,981	31,401
貨物収入(〃)	173,651	146,290	157,430
運輸雑収(〃)	6,290	6,222	6,935
収入合計(〃)	211,641	183,493	195,766
営業費(〃)	184,648	173,289	171,926
営業利益(〃)	26,993	10,205	23,840
営業係数(%)	87	94	87

(志村幹雄)

みとせん 水戸線 東北本線小山駅と常磐線友部駅とを結ぶ50.2kmの線。東北線に属し線路等級は乙線である。明治22・1 小山・友部間水戸鉄道株式会社によって開通,同社は明治25・3 日本鉄道会社に買収され,さらに明治39・11 鉄道国有法によって国鉄に移管,水戸線と呼ぶこととなった。(森 徳寿)

みなみとかちせん 南十勝線 広尾線の大樹駅を起点とし,駒島を経て同線の大正駅を終点とする南十勝本線と,豊頃線とからなる国鉄自動車路線で,これを所管する帯広自動車営業所を帯広市に,大樹支所を北海道広尾郡大樹町に設置している。

1 区間・キロ程および沿革

南十勝本線	大樹・大正	52km	昭23・11・3開業
	大樹・旭浜	15	昭28・7・15
	本町・相保島	15	昭27・7・20
	忠類・生花苗	18	昭30・8・5
	駒畑・更別	14	昭32・7・1
豊頃線	駒島・池田	42	昭28・11・15
	協力街道・勇足	29	昭32・2・10

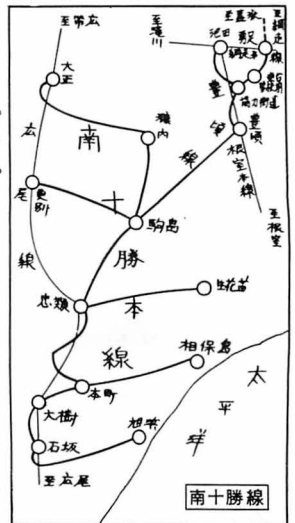
上記のうち協力街道・東台学校前間は昭30・11・10開業。

2 営業範囲 旅客・手小荷物の運輸営業を行っている。

3 接続駅 大樹,石坂,忠類,大正,豊頃,十弗,池田。

4 使命 十勝国南部の開拓促進をはかるために開設された路線である。冬期積雪のため大樹・大正間,大樹・相保島間,大樹・旭浜間,中大川・駒島間,十弗・昭栄学校前間は例年2月から4月中運転を休止する。(福田幸市)

みなまんしゅうてつどう かぶしきかいしゃ 南満州鉄道株式会社 この会社の創設は東清鉄道南満州支線の



の一部として露国が建設経営していた鉄道その他を,日露戦争の結果ポーツマスにおいて締結された日露講和条約(明治38・9)により,日本政府がこれを継承したのに始まる。同条約第6条にはつぎのように規定されていた。[露西亜帝国政府は長春(寛城子)旅順口間の鉄道,およびその他一切の支線並びに同地方に